

## 交流の場ビオトープ

—東山いきいき市民活動センター中庭ビオトープ—

令和3年度第2号 (R3.7.12 発行)

〔実施日時〕 令和3年7月11日(日) 10時30分頃から13時まで

〔実施者〕 4名

〔作業参加者〕 (東山区から) 1名、(亀岡市から) 2名。 合計8名

〔見学者〕 1名

### 〔今回の活動の初めに〕

- ◇ 佐伯さんの声掛けにより、新たにグループに入っただけの方がおられるとのことで、幸いにも晴れ間が期待できるこの日にようやく顔合わせと第1回の作業を行いました。
- ◇ まず、事務所にてこのビオトープの簡単な説明をし、実施者5人でこの日の作業の打ち合わせを行いました。
- ◇ 作業を開始したところへ作業参加者3名が到着されて、8名で草刈りを主とした作業を1時間半ほど行いました。  
前日までの梅雨空から一転して強い日差しが降り注ぎ、しかも湿度が高かったため、熱中症対策として作業中はできるだけマスクを着用しないで、且つ短時間作業を心掛けて行いました。
- ◇ 佐伯さんが手配してくれていたもので、南隣でメダカを育てておられる三善製菓のご主人にメダカを頂きに行き、2センチほどに育ったクロメダカ10匹を受け取りました。  
またその折り「ごろね」の女性が一緒に見学についてこられました。

### 〔ビオトープの整備・育成活動〕

1ヶ月前に、作業路を含めてエリアの4分の1ほどの除草をしましたが、今や当然のこととは言え、作業路の区別も付かないくらいに全域が茂ってしまっていました。

〔作業の内容〕

- ◇ 全域の除草を、ともかく手当たり次第に実施しました。
- ◇ アンズ、ユスラウメ、ナツグミの枝が伸びすぎ且つ密集していて、病気が発生する恐れがありますので、まずナツグミを走りさんに精力的に透かし剪定していただきました。  
次回も引き続き実施する必要があります。

◇ 池の周りを覆って池を見えなくしていた植物群を刈り込んで池の存在が分かるようにしてから、新しい水をたっぷり補充して、いただいてきたクロメダカ10匹を放しました。

◇ 作業用兼観察用の通路を隠してしまっているドクダミ、朝鮮アサガオその他の草を除草し、通路を覆っているいたススキの葉を腰の高さまで刈り込みました。

◇ 持ち込んだ、ジンチョウゲ(白)とトサミズキをそれぞれ「季節を彩る野草エリア」と築山部分に植え付けました。梅雨の初めまでには移植する予定でしたが、梅雨時には持参するのが難しく、本来移植には好ましくないこの時期ながらやむを得ませんでした。土が乾かないように努力して無事に定着して欲しいと願っています。



### 【植物と生き物の観察】

#### <生き物>

- ◇ 大型のマルハナバチ（春先にフジの頃にやってくるクマバチより大型長型）が2匹
- ◇ アシナガバチが1匹観察されました。

#### <植物>

- ◇ 開花中：ヤブカンゾウ、コガマのがまの穂（池の中）、ヒメジョオン類似の白い花（ヒメムカシヨモギ?）、ミソハギとムラサキシキブが数少ないながら清らかな赤紫の花。
- ◇ 朝鮮アサガオが、ビオトープには好ましくない植物ですが、広範囲に蔓を伸ばしてほぼ全域に青紫の花を華やかに咲かせていました。

作業終了後、汗を冷やしながら、冷たいお茶をいただきつつ、この日の作業や今後について話し合い、ちょっとした交流の時間を持ち、素晴らしいときを過ごすことができました。皆さん有難うございました。

### 【課題】

ビオトープのある中庭には、沢山のベンチを設置していただいているものの、直射日光を避けるための日除けがありません。そのため下記のための日陰作りが是非必要です：

- 1) 作業中直射日光を避けて休息できる日陰、
- 2) 交流の場として機能するためには、落ち着いて話し合いや飲食のできる日陰